

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	南信州移住促進事業
事業主体 (連絡先)	南信州広域連合
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,364,192 円

事業内容

各市町村が独自で取組む移住促進施策に加え、広域的な連携のもと移住促進施策に取組むことにより、Uターン希望者への多様な選択肢を提供する機会を創出し、圏域への移住定住の促進を図る。

- 南信州子育て移住セミナー
「南信州で暮らす・働く 移住大相談会」(単独開催)
平成29年2月13日(月) 12:30~15:30 銀座NAGANO
- 田舎暮らし『楽園信州』推進協議会主催事業への参加
平成28年12月10日(土) ふるさと回帰支援センター(東京)
平成29年2月26日(日) 中日ビル(名古屋)



【銀座NAGANOでの移住相談会】

【目標・ねらい】

- 長野県内での南信州の認知度の確認
- 市町村合同開催の移住セミナーの効果確認
- インターネットを通じた広報活動の実施

事業効果

- 東京開催のセミナーについて(相談者:2名/参加者21名)
個別相談の人気は、北信に集中しており、諏訪・飯島・南信州は、各1名程度の相談であった。
圏域の知名度を上げ、観光など一度来訪していることが、移住や交流へ繋がっていくのではないかと。セミナー参加者は、すでに相談する地域を絞り込んできており、圏域の知名度を高めることが肝要である。
- 名古屋開催のセミナーについて(相談者:3組/参加者15組)
広域連合の参加の他に下條村・泰阜村・豊丘村が個別に参加したが、どの自治体も複数組の相談者が訪れた。
時間によってはさらに相談者が増える可能性があり、複数での相談体制を検討する必要がある。
- 南信州子育て移住セミナー(参加者:16組18名)
南信州圏域としては初開催で平日だったが16組の相談者が訪れた。うち14組は熱心に個別相談にも参加。複数の自治体へ相談に訪れるため、相談時間を長くする必要がある。
東京で開催された楽園信州移住セミナーでは、南信州圏域への相談者は2名のみであったが、単独開催では16組となり、圏域単独開催が好結果となった。

※自己評価【B】

【理由】

市町村単独での移住施策に壁を感じていた中で、南信州圏域合同の取り組みに一定の成果が見られた。個々の自治体の独自の取り組みと圏域一体となった取り組みの両輪によって進めていく効果が確認できた。

今後の取り組み

- 情報発信について
セミナーへの参加者は、インターネットを通して、情報を収集していることが窺われる。
今年度の参加者アンケートの結果も移住推進交流機構(JOIN)・ふるさと回帰支援センター・楽園信州などのホームページの情報で、セミナーへ参加した方が多かった。
南信州圏域の移住情報のホームページを充実させることでインターネットを通じた発信を強化していく。
また、圏域としての情報発信と各自治体での情報発信が相乗効果を発揮できるよう調整を図っていく。
- 移住相談会について
東京だけではなく名古屋及び大阪の三大都市で、南信州の合同移住相談会を実施し、一体的に移住定住希望者の取り組みを図っていく。
- Uターン者への取り組み
新たな移住希望者へ圏域の魅力を発信するのは息の長い取り組みであるが、圏域出身者であれば、Uターン後にどの様に自己実現できる状況があるかを伝えることに専念できるため、効果的である。Uターン者への圏域としての働きかけを立ち上げていく。